

特別委員会

市の重要課題について、専門的に調査研究を行うため、必要に応じて設置される委員会です。

■ 地方創生調査対策特別委員会

4月26日

付議事件調査

- 糸魚川市地方版総合戦略の策定・推進について
- 人口対策ビジョンの策定・推進（人口減少・少子高齢化対策、中山間地域再生と移住定住対策等）について

■ 交通対策特別委員会

4月18日、6月13日及び6月22日

付議事件調査

- 地域高規格道路松本糸魚川連絡道路整備の整備区間昇格について
- 一般国道8号糸魚川東バイパス間脇～梶屋敷間の早期完成について
- 北陸新幹線開業に伴う並行在来線と大糸線活性化対策について

中間報告

本定例会最終日、交通対策特別委員会の中間報告が行われました。概要は、次のとおりです。

並行在来線の日本海ひすいラインへの新駅の設置に関しては、昨年9月に押上新駅設置連絡協議会と意見交換をし、10月に早期建設、駐輪場の整備など地域住民の利便性が図られるように市長に要望を行った。また、新潟県とえちごトキめき鉄道株式会社に対しても、新駅の早期建設と、建設に当たっての糸魚川市の負担軽減のほか、朝・夕の運行増便を含めた混雑の緩和を要望し、あわせて、糸魚川～新潟間の優等列車の時刻調整と増便、リゾート列車の大糸線乗り入れの実現に向けて関係機関に働きかけることも要望した。今後は上越3市議会での合同の要望活動にも取り組む。

一般国道8号糸魚川東バイパスの間脇～梶屋敷間については、大部分をトンネルとするルート案が示されており、今年度概略設計が進められている。地元が求めている

接続道路についても承知されており、市としても法線決定に関わっていきたいということであった。

地域高規格道路松本糸魚川連絡道路については、今年1月に長野県側の起点部分となる（仮称）安曇野北ICから大町市街地南の計画案が示され前進が見られた。新潟県内においては、西中地内において将来的に高規格道路の要件を満たす県道西中糸魚川線の西中バイパス事業が進められており、今年度着工となる。8月27日には、建設促進のためのフォーラムが開催され、市としての強い意向を示し必要性を訴えることになっている。

議会としても、沿線の自治体・議会、市内民間企業と国道の利活用の背景を精査し、とりまとめて要望活動を行っていく。新潟県の理解を得られるよう努め、新たな運動を展開する必要があると考えている。

全員協議会を開催

5月19日（木）及び6月2日（木）に、第2次糸魚川市総合計画の基本構想案、基本計画案の細部まで議論しました。今後は、8月10日（水）に予定されている全員協議会で再度議論し、9月定例会に基本構想案が上程される予定です。

また、6月7日（火）には、市議会のあり方の基本を定め、議会改革の内容を明文化する議会基本条例案の、条文1条1条とその解説について議論しました。8月4日（木）に予定されている全員協議を経て、9月定例会で基本条例案が議員発議される予定です。



全員協議会の様子

全員協議会とは…市政に関する重要な事件又は議会運営に関する事項について協議又は調整するために、議員全員が出席して開かれる会議です。